コロナ明けの農村生活アドバイザー協会東三河支部の組織活動

～地域の女性リーダーとしての取組～

鈴木　麻衣（東三河農林水産事務所農業改良普及課）

【2025 年 1 月掲載】

【要約】

愛知県農村生活アドバイザー協会東三河支部（会員数 51 名）及びその下部組織にあたる、豊橋ブロック（会員数 20 名）、豊川ブロック（会員数 17 名）、蒲郡ブロック（会員数 14 名）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動が制限された期間があったものの、開催方法や内容を工夫して研修会等を行っていた。現在は、コロナ前に実施していた活動を再開しつつ、地域の女性リーダーとして貢献できる活動を行っている。

1　組織概要

2024 年度の愛知県農村生活アドバイザー協会東三河支部は、地域参画学習会を通して農業経営に関する知識、生産技術等を学んでいる。また下部組織として、豊橋ブロック、豊川ブロック、蒲郡ブロックがある。それぞれのブロックにおいて、視察研修会の開催、食農教育体験会やイベントでの農産物販売で地域住民と交流、市長や農業協同組合長等と農政懇談会を実施している（図）。

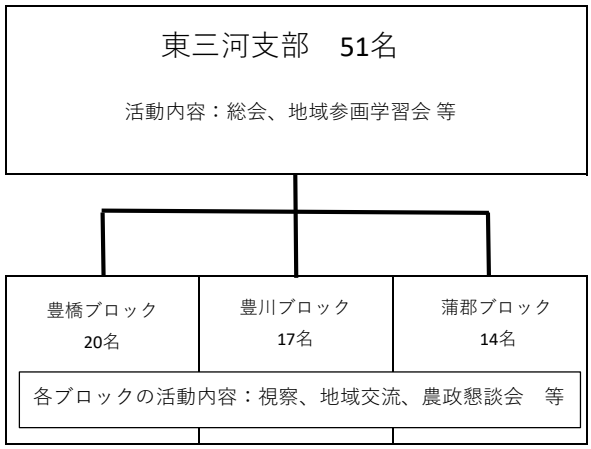

図　東三河支部の組織体系（2024.4.1 現在）

2　活動内容

(1) コロナ前、コロナ禍の活動（2019 年度～2022 年度）

コロナ前（2019 年）までは支部で地域参画学習会や総会を実施したり、各ブロックで視察研修を実施していたが、新型コロナウイルス感染症が蔓延した直後から、感染拡大防止のため、多くの活動を中止せざるを得なくなった（表）。

しかし会員達はコロナ禍でも自らが地域の女性リーダーとしてできることを模索し、感染状況に気を配りつつ、マスク着用の徹底や、広い会場で実施する等、開催方法や内容を工夫して研修会や活動を行った。一例として、2022 年度の東三河支部地域参画学習会では「コロナ禍でも地域を元気にするためにできること」をテーマに、会員と蒲郡温泉郷の女将の組織「こはぜ会」がディスカッションを行った。

表　支部及び各ブロックの活動状況（2019 年～2024 年）

		東三河支部		豊橋ブロック			豊川ブロック			蒲郡ブロック		
		総会	地域参画学習会	視察	地域交流	農政懇談会	視察	地域交流	農政懇談会	視察	地域交流	農政懇談会
コロナ前	R 1	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×
コロナ禍	R 2	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○
	R 3	△※1	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
	R 4	△※1	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×
コロナ明け	R 5	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
	R 6	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×

※1：役員のみ出席

(2) コロナ明けの活動（2023～2024 年度）

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類感染症になった 2023 年度以降、会員達はコロナ前に実施していた活動を再開しつつ、オンライン研修を取り入れながら、地域の女性リーダーとして貢献できる活動を提案及び実行している。

ア　東三河支部（地域参画学習会）

2023 年度は３年ぶりに会員全員が集まり総会を開催することができた。また外部講師を依頼して食酢の健康機能について地域参画学習会を開催した。2024 年度の地域参画学習会では、オンラインで農業版事業継続計画を学んだ後に、昼食交流会を開催し、活発な情報交換を行った（写真１）。

イ　豊橋ブロック（地域交流）

2024 年度に市内で開催された農産物博覧会では、従来行っていた来場者への抹茶の提供を変更し、初の試みとして野菜スタンプ体験とハロウィンたまねぎ制作体験を行った（写真２）。特に親子連れに人気のイベントとなり、来場者が豊橋産の農産物に関心を持つ良い機会となった。

ウ　豊川ブロック（農政懇談会）

2023 年度、2024 年度と２年連続でＪＡひまわり組合長と農政懇談会を実施し、2023 年に竣工した総合集出荷場や、産直センターについて積極的な意見交換を行った（写真３）。また、2024 年度には４年ぶりに視察研修会を実施し、会員達の交流が図られた。

エ　蒲郡ブロック（視察）

2023 年度、４年ぶりに視察研修会を実施した。2024 年度の視察研修会では、田原市内で花きの出荷情勢を学んだり、カラーリングマムのアレンジメント体験を行った（写真４）。「会員達が地域住民に対して何かをしたい」という思いから、今年度は市内で開催される農林水産祭に約 10 年ぶりに出店し、視察研修会で学んだカラーリングマムのアレンジメント体験を来場者へ提供する予定である。

写真１　2024 年度地域参画学習会（東三河支部）

写真２　野菜スタンプ体験（豊橋ブロック）

写真３　ＪＡ組合長と農政懇談会（豊川ブロック）

写真４　カラーリングマム体験（蒲郡ブロック）

３　今後の取組

年々会員数は減少しているが、支部及びブロック活動は衰えることなく、盛んに行われている。すでに東三河支部では 2025 年度の地域参画学習会の検討が始まっており、会員達の積極的に学ぶ姿勢が見られている。今後もアドバイザーの活動を通し、コロナ禍の経験を活かしながら、女性リーダーとして地域の活性化を継続していく。

Copyright (C) 2024, Aichi Prefecture. All Rights Reserved.